

草津市の財務書類（令和6年度決算）の概要

貸借対照表



主な資産の増減要因

・固定資産	
市立プール整備事業	38億円
小中学校体育館空調	19億円
草津駅西口自転車駐車場	4億円
常盤団地長寿命化事業	3億円
まちづくり基盤整備基金	3億円
・流動資産	
財政調整基金	3億円
・減価償却	▲62億円

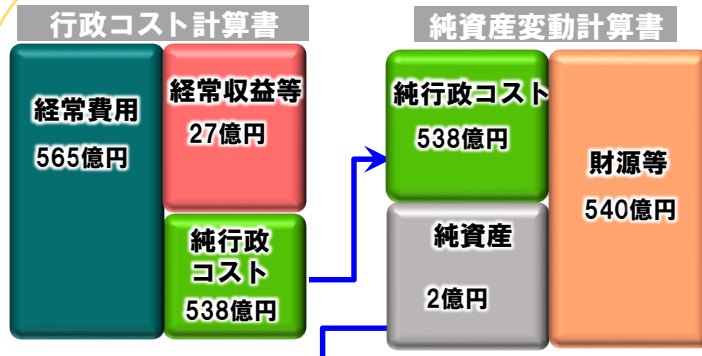
主な負債の増要因

R6 地方債新規発行	67億円
R6 地方債償還額	43億円 差引 24億円

Point

R6においては、新規で取得した有形固定資産が、減価償却費を上回ったため、資産が増加しました。
また、新たな市債の借入が過年度の借入の償還額を上回った結果、負債が増加しました。

行政コスト計算書および純資産変動計算書



経常費用 **565億円（対前年比：+49億円）**

人事院勧告や会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始に伴う人件費の増や、児童手当給付費などの扶助費の増によるものです。

経常収益等 **27億円（対前年比：+1億円）**

使用料や手数料など、日常の行政サービスの対価として受け取る収入等です。

純行政コスト **538億円（対前年比：+48億円）**

人事院勧告や会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始に伴う人件費の増や、児童手当給付費などの扶助費の増によるものです。

財源等 **540億円（対前年比：+21億円）**

地方交付税や地方特例交付金の増などにより純行政コストを賄うことができました。

本年度純資産変動額 **2億円（対前年比：▲27億円）**

Point

地方交付税や地方特例交付金等の増により財源等が21億円増加し、純行政コストを上回りました。
その結果、純資産が2億円増加したことで将来世代も利用可能な資源を貯蓄できました。

資金収支計算書



本年度資金収支額の内訳

業務活動収支 **+52億円**

業務支出・・・498億円
業務収入・・・550億円

地方交付税の増などにより、支出を賄うことができました。

投資活動収支 **▲78億円**

投資活動支出・・・100億円
投資活動収入・・・22億円

市立プール整備事業等の大規模事業を行ったことから赤字になっています。

財務活動収支 **+25億円**

財務活動支出・・・42億円
財務活動収入・・・67億円

新たな市債の借入が過年度の借入の償還額を上回ったことから黒字になっています。

Point

収入が支出を上回った結果、令和6年度末の資金残高は5億円となりました。